

校長様より

令和7年10月27日(月)

岸和田市立岸城中学校 松下 孝徳

急に暑くなりましたね。先々週まで30℃を超していたのが先週は20℃台になり、一時15℃くらいまで下がりました。冬モードです。秋とよべる日は何日あったべろうかと思うほどです。体がついていけません。衣替えも急遽、二日に終えました。これからこのような季節調整が当たり前になるのでしょうか。

そのような環境で体育大会が行われました。(10/24金)当日のことと秋晴れの日和でした。(晴なのは不金のみと、まるで岸城中学校を応援してくれているみたいでした。)今年も全ての種目全ての生徒の活躍を見守るという役割なので当日を待ちに待っていました。本年度も走競技中での体育大会からアカルト的要素(走るのが苦手な生徒でも活躍できます)が大きいものとなりました。昨年度は全学年5クラスなので色別縦割りの競技が追加されました。しかし今年はクラス数が違っているので、体育科の先生たちが工夫を凝らして平均値による縦割りを実施しました。2週間前から各学年とも朝練、昼練の元気を声で飛ばし交いました。特に3年生は最後の体育大会でした。集団演技は1か月前から行っていました。どの学年も課題がありました。出る種目、リレーの順番、集団演技のうまいかまいとことや、教師の指示に対する不満等という

うありました。しかし本番が近づくにつれて徐々に減ってきました。『しまった』と感じました。体育大会では生徒は結果、教師は経過を大切にしなければなりません。このような摩擦は必ず化学反応を起こしよい結果へと繋がります。

そして本番を迎えました。多くの保護者の見守る中で競技がスタートしました。始まる前に私に『すべての生徒が気持ちよくなる応援演技を全力でしましょう』と伝えていました。まさしくその通りになりました。昨年度の団扇の応援ツールからタオルになりました。さすが岸成の生徒はタオルの使い方が上手いですね。(笑)3年生の団体演技では胸が熱くなりました。すべての競技を終え、閉会式後の3年生の記念撮影もできました。本当に素晴らしい体育大会でした。会場にいる全員で作りました。気持ちのいい体育大会が幸せも呼ぶ体育大会になりました。そして岸成中学校の伝統の継承へとつながっているように思います。本当にありがとうございました。

11月には、3年学力診断テスト、授業参観、進路説明会、泉友研卓球大会、小中交流会、期末テスト、合唱コンクールと行事が続いていきます。一つ一つの行事を大切に丁寧に取り組み、思い出と絆を深めていきたいと思います。今後もしっかりサポートしていきます。